

ふうしん 風疹 について

「風疹」は風疹ウイルスによる感染症です。

感染経路は飛沫及び接触感染です。**流行の中心は成人男性**であることが分かっています。

1人の罹患者が周りにうつす人数は6~7人と高い感染力を持ちます。インフルエンザは2~3人。風疹が流行し、**妊婦が感染すると先天性風疹症候群の赤ちゃんが増える**ことが報告されています。風疹で最も問題になるのは風疹そのものよりも先天性風疹症候群です。**男女ともにワクチンを受けてまず風疹の流行を抑制し、女性は感染予防に必要な免疫を妊娠前に獲得しておくことが重要**です。

《潜伏期:2~3週間》



《発症》

15~30%は風疹だけど症状無し(不顕性感染)



発熱・発疹・リンパ節の腫れ(耳・首の後ろ)



症状が出そろった頃に感染力は最大!!

発疹出現後1週間、感染力は続く

《回復まで:約1週間》



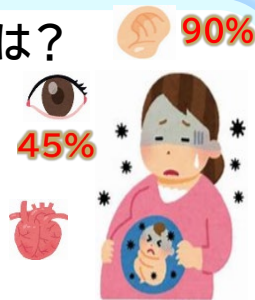
治療法は対処療法しかない!! (解熱・鎮痛剤など)

大人は重症化しやすい → 治癒に時間がかかることあり

発疹が消失するまで出校停止

先天性風疹症候群(CRS)とは?

妊娠20週以内の妊婦が感染すると胎児の難聴、白内障、心臓の病気等様々な障がいを引き起こす可能性があり、これを**先天性風疹症候群(CRS)**という。妊娠4~6週の妊婦では**CRS発症50%以上**と言われており、**難聴はCRSの90%、白内障などの目の病気は45%**に合併するとされている。



赤ちゃんを守るのは

予防接種

です。

風疹の流行は

大人から大人が多い



職場で

← 家族から

◇風疹は無症状であったり、これがあれば風疹と確定診断をすることが難しく、誤った診断が多い。→過去に風疹にかかって抗体があるつもりでも実は罹患者が無く大人になって発症するケースも!!

◇1回の予防接種では免疫が不十分なことがあり、2回の予防接種で十分な免疫を獲得することが大切。

◇罹患者やワクチンの接種歴が良く分からない場合は流行を抑制するために積極的なワクチン接種が推奨される。罹患者がある人が摂取しても、3回接種することになっても特に問題は無いとされている。

◇妊娠中はワクチンの接種が出来ない為、妊娠可能な年齢の女性は積極的なワクチン接種が必要。